

令和4年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

令和5年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和4年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（令和4年度末現在）

職名	氏名
教育長	松本明彦
教育長職務代理者	野木三司
委員	関美幸
委員	田村浩章
委員	安達京子

# 目 次

○自己点検・評価について	1
○教育に関する学識経験者の意見	3
<b>I 教育委員会の活動状況</b>	
1. 教育委員会の開催状況	9
2. 教育委員会委員の主な活動	14
<b>II 施策評価・進捗管理調書</b>	
【重点目標1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します	17
① 就学前教育の環境整備	
② 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	
【重点目標2】確かな学力・生き抜く力を育みます	27
① 小中一貫教育の推進	
② 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	
③ 確かな学力の育成	
④ 社会を生き抜く力の育成	
【重点目標3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します	41
① 子どもの安全・安心の確保	
② 学校施設環境等の整備充実	
③ 個に応じた支援体制の充実	
④ ボランティアによる学習支援の推進	
⑤ 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	
【重点目標4】豊かな人間性・社会性を育みます	62
① 人を思いやり、尊重する社会性の育成	
② 生徒指導体制、教育相談体制の充実	
③ 家庭・地域の教育力の向上	
④ 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成	
【重点目標5】生涯にわたる豊かな学びを支援します	73
① 生涯学習の体制づくり	
② 人権教育の推進	
③ 社会教育施設等の整備充実	
【重点目標6】歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます	85
① 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	
② 地域の文化財の総合的な保存と活用	
③ 資料館施設等の整備充実	
④ 文化芸術活動の推進	
【重点目標7】たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します	95
① 健康な体づくり	
② 食育の推進	
③ 地域スポーツ活動の推進	
④ 競技力の向上	
⑤ 社会体育施設等の整備充実	
⑥ スポーツ観光のまちづくり	
<b>III 学校評価自己評価</b>	
<b>学園毎評価・学校評価自己評価</b>	
1. 学園小中一貫、こども園、学校評価自己評価報告一覧	106
2. 学園小中一貫教育報告書	109
3. 学校評価自己評価報告（こども園、小・中学校）	138

## 令和4年度の教育活動を振り返って

令和4年度の教育行政は、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創り出す力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策を推進してきました。

令和元年度から4年度にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の学年・学級閉鎖や行事などの延期や中止なども一部でありましたが、一方で行事の規模縮小など感染対策に努めながら教育活動を進めました。

平成28年度より全市展開となりました京丹後市の最も重要な教育振興策である「小中一貫教育」は、令和2年度から「保幼小中一貫教育」へと改称し、「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、6つの学園が特色を生かしながら、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指す教育活動に取り組みました。

令和4年度は、「グローバルな視野をもち、国際社会で活躍できる力及び、ふるさとへの愛着と誇りを持ち新しい価値を創り出す力をはぐくむ」をテーマに、アグリセンター大宮において京丹後市教育フォーラムを実施しました。これからの時代を生きる子どもたちにはぐくみたい資質・能力について、本市の取組の説明を行うとともに講演会を開催し、子どもを取り巻く様々な場での目指すべき教育のありかたや10年間ではぐくみたい力をめざし、一貫教育を進めていることを市内に広めることができました。

子育て支援関係では、子ども家庭総合支援拠点を子ども未来課内に設置し、母子保健と児童福祉の一層の連携を図り、児童虐待の防止等に努めました。公営の保育所、幼保連携型認定こども園で、前年度に導入した保育業務支援システムを本格運用し、保育業務の負担軽減や、保護者の利便性向上が図れました。また、放課後児童クラブは久美浜放課後児童クラブを新設し、全11か所で、子どもたちの安全・安心な放課後の健全な育成に取り組みました。市内8か所に設置している子育て支援センターでは、子育て相談・交流・ふれあいの場として、身近な地域で子育て支援を実施している一方、網野地域子育て支援センターでは、旧保育所を活用し、登録者のクラス分けをすることなく自由に利用できる環境を整備し、子育て支援の充実を図っています。さらに、地域で子育て支援に取り組む環境づくりを進めるため、従来の補助金制度を拡充し、子育て支援団体の活動や子育て支援イベントの実施に要する経費を助成する制度を創設したほか、市内の事業所等が行う授乳用設備等の整備に要する経費を助成し、子育て支援環境の充実に努めました。

学校教育関係では、令和4年2月に策定した学校適正配置基本計画に基づき、複式学級が発生または発生が予測される小学校区を対象に、保護者や地域の方々の理解を深めるための説明会・意見交換等を開催しました。グローバル人材育成事業では、語

学力の向上及び国際的視野を持った人材の育成を目的に、平成28年度から取り組んでいる「中学生海外派遣事業」は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により現地派遣は中止となりましたが、他国の文化や言語に触れ国際的視野を持てるよう、中学1・2年生を対象とした「オンライン留学」「オンラインホームステイ」を実施し、フィリピンの生徒やホストファミリーと交流を深めることができました。また、市内中学2年生全員のタブレット端末にアプリ「ELSA Speak」を導入し、発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組むとともに、中学3年生と高校生を対象に、京丹後の良さを学びSTEAM教育を推進する探究型ワークショップ「Kyotango Sea Labo」を開催し、貴重な成果を得ることができました。

学習環境の整備では、峰山・長岡小学校の2校のトイレ洋式化事業が完了するとともに、6中学校の体育館照明LED化工事設計業務に着手するなど教育環境の整備に努めました。また、国のGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に整備した高速校内LAN環境及び、児童・生徒・教職員1人1台のタブレット端末の活用を推進するとともに、学校だけでなく家庭学習においてもタブレットを有効活用するため、持ち帰り学習の取組を推進しました。今後もGIGAスクール構想の充実に向けたICT環境の利活用を着実に実施していきます。

社会教育および社会体育関係では、新型コロナウイルス感染症による行動制限がなかったことから、事業全般について、十分な感染症対策を講じながらおおむね計画通り実施することができました。社会教育関連事業については、地域公民館を中心に乳幼児から高齢者まで各世代を対象とした学習機会の確保に努めることができました。また、民法改正による成人年齢の引き下げに伴い、成人式を「はたちを祝う式典」として開催しました。文化芸術事業では、文化芸術振興審議会の答申を受け、本市の今後10年間の文化芸術施策の指針となる「京丹後市文化芸術振興計画」を策定するとともに、市民が質の高い芸術に触れる機会の創出に努めました。社会体育関連事業では、チャレンジデーや各種スポーツ大会の実施により、市民のスポーツ機会を創出するとともに、市内4つの社会体育館のLED化などスポーツ環境の充実や市体育協会の法人化支援など体育団体支援にも積極的に取り組みました。

文化財関係では、今後の文化財の保存・活用の方向性を示すものとして、「京丹後市文化財保存活用地域計画」を策定しました。また、網野銚子山古墳の令和6年度末までの整備に向け、市史跡整備検討委員会及び文化庁等の指導を受け、実施設計及び環境整備工事を実施しました。

このように、令和4年度は、保幼小中一貫教育の推進、子どもの放課後対策や子育て支援、学校適正配置の取組、グローバル人材育成の推進、学習環境の整備、スポーツ振興の推進、文化財保存活用の検討、施設の改修整備など本市の懸案となっている課題の解消に向けてさらなる取組を進めてきました。本市教育振興計画の「京丹後市が目指す教育」の達成に向け、今後もさまざまな教育活動を推進していきます。

令和5年11月

京丹後市教育委員会

## 【教育に関する学識経験者の意見】

## 教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授  
氏名 竺沙 知章  
令和5年10月23日（評価を行った日）

### 2 序論

令和4年度では、前年度に引き続き、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創り出す力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策が推進されてきた。京丹後市の将来を見据えた施策が展開されている。

本意見書では、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」（以下、「報告書」）を主として分析し、また各種の資料や教育委員会会議と総合教育会議の議事録も参照しながら、中長期的な視点から策定されている京丹後市の教育振興計画の基本理念がどのように実現されようとしているか、適切に点検評価がなされているかという視点から意見を述べることにしたい。

### 3 主な施策等の成果と課題

#### （1）教育委員の活動について

教育委員会会議は、12回の定例会議と4回の臨時会議が開催されていた。教育振興計画進捗管理について（7月定例会議）は、報告事項ではあったが、多くの疑問がなされ、重要な議論がなされていたと思う。保育所・こども園の問題、児童生徒の自己肯定感が低下している実態について、子どもの健康、視力の問題、不登校の状況、働き方改革などについて、振興計画と関連させて、意見交換がなされていた。また2月の臨時会議では、令和5年度の教育委員会関係予算について、令和5年度「学校教育指導の重点」について、令和5年度「社会教育推進の重点」について、など重要な議案について、活発な疑問がなされていた。

また、総合教育会議は3回開催されていた。その中で、第1回（5月16日）、第2回（6月20日）では、教育大綱について活発に議論されていた。提案された原案について具体的に、かなり踏み込んだ意見交換がなされており、重要な議論が展開されていたと言える。第2回では、パブリックコメントで提起された中高生の意見を反映させるという点をめぐって重要な議論がなされていたと思う。中高生を含めて市民の声を踏まえて教育行政を進めることが重要であり、そのことが共有されたことに意味があると思う。策定された教育大綱は、教育委員からの意見にもあった通り、わかりやすく、簡潔にまとめられており、市全体で教育を推進していくのにふさわしいものになっていると思う。

#### （2）重点目標に関する活動について

##### 1) 保幼小中一貫教育の推進について

学校運営協議会の設置に伴い、地域の関係者とともに運営していく仕組みが整備されたことになる。すぐにその成果を実感することは難しいと思うが、その体制を活用して、地域の声にしっかりと応えるような取り組みが求められるであろう。保幼小中一貫教育は、保護者や地域の理解に支えられることにより、いっそう促進されるものである。「学園の取組等の検証・評価を学校園単位でPDCAサイクルにより進めた」と述べられているが、実際にどのような状況なのか、把握することができなかった。もう少し整理が必要なような印象を受ける。

##### 2) 確かな学力の育成

目標指標の「学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童（生徒）の割合」について、小学校は、計画作成時より減少しており、中学校でも目標値をかなり下回っている。それに関しては、「改善が求められる」と述べられており、課題として認識はされているが、なぜそのようなになっているのか、また児童生徒の学びの状況はどのようになっているのか、その分析が必要であろう。自己評価において課題や改善策の記述だけでなく要因分析についても述べる必要があると思う。

##### 3) 社会を生き抜く力の育成について

「グローバル人材育成事業」の取り組みが非常に注目される。Kyotango Sea Laboは、STEAM教育という最先端の教育に挑戦しようというものであり、しかも学校や教育委員会だけではなく、Sky Laboという専門団体と連携し、また地域の方々の協力を得て実施されたものであり、これまでの学校教育の殻を破る新しい教育の可能性を感じさせる取り組みであると思う。「保幼小中一貫教育」の体制が整備され、各学園の取り組み、運営も軌道に乗り、定着しつつある段階において、先を見据えた取り組

みに着手している点は高く評価できる。総合教育会議でも意見が出されていたと思うが、中学卒業後の進路に対して、どのような展望を開くことができるのか、今後の重要な課題になると思う。

英語力向上アプリを導入し、市内全中学2年生を対象にした英語力の向上の取り組みも注目される。1人1台端末導入というGIGAスクール構想を活用し、新しい学びを実践しており、成果が期待される取り組みだと思う。

その他、小学生を対象とした異文化体験、オンライン留学、オンラインホームステイなど国際交流の体験を豊かにする試みがなされており、グローバル人材育成に積極的に取り組まれていると思う。こうした取り組みは、保幼小中一貫教育の一環として各学園でそれぞれのカリキュラムに位置づけられることが重要であろう。特に丹後学と関連づけて、京丹後市の良さ、その将来を考えることと結び付けて考えられるような人材の育成を目指すことが必要だと思う。

#### 4) 学校施設環境等の整備充実

この施策については、耐震化や老朽化対策、安全・安心ということが重視されてきたが、今後、新たな教育に挑戦するのであれば、それを可能とする環境整備に取り組むことも求められるであろう。そのような事業を展開することも期待したい。

#### 5) 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進

働き方改革として、平成30年7月に策定された『教職員働き方改革実行計画』が、その後の状況の変化、教育振興計画の改定も踏まえて見直しをなされ、令和3年7月に改訂されている。教職員の業務改善に積極的に取り組まれていると思う。ただ目標指標において、時間外勤務月45時間超の教職員数となっているが、『教職員の働き方改革実行計画』では、令和4年度で45時間以内80%達成とされている。これが達成されたのかどうか確認できない。同じく60時間以内は100%達成が評価指標とされている点も達成できたのかどうか確認できない。教育振興計画との整合性の問題もあるが、点検評価でその点を明示して、自己評価すべきであると思う。

時間外勤務を減少させるのは重要なことであるが、働き方改革として考えるべきことは、京丹後市が現在取り組もうとされているSTEAM教育など最先端の教育を取り入れ、グローバル人材を育成し、京丹後市を発展させようとしていることを踏まえるならば、教育のあり方、教員の実践、授業のあり方を見直すことが必要であり、そのために教員の働き方を変えなければならないのではないかと考える。現状の働き方では、質的な点で、新たな教育に挑戦することは難しいのではないかと考える。

#### 6) 生徒指導体制、教育相談体制の充実について

いじめ、不登校の問題は、総合教育会議で常に議題とされており、市の重要な課題として認識されている。特に不登校出現率の増加傾向には歯止めはかかっているように思う。各学園、各学校の自己評価報告書を見ると、不登校に関する記載があり、その対策に取り組んでいることはわかる。不登校の問題は、不登校の児童生徒数の増減や出現率などの数値ではなく、その根底にある問題について探り、検討していくことが欠かせないと思う。それは対応策ということにとどまらない学校教育のあり方に関わる問題だと思う。そのためには、まずはその要因について様々な視点から考えていくことが必要であると思う。

#### 7) 生涯学習の体制づくり

新たな地域コミュニティへの移行の取り組みが注目される。このようなまちづくりの体制を整えることと、生涯学習や学校教育の推進とが連動していくことが必要であり、そのような取り組みになるように期待したい。

### 4 総括

自己点検・評価のための資料がよく整理され、成果と課題についても簡潔にまとめられているので、外部の立場からも理解がしやすい。今後、学校運営協議会の設置に伴い、学校関係者評価が充実していくことが期待される。学校評価自己評価の中に、学校関係者評価の記載があってもよいように思う。どのような評価がなされ、各学園、学校はそれをどのように受け止めたのか、記録として残していくことが大切だと思う。

### 5 総合評価

市民にも理解しやすい教育大綱が策定されている。市民の声、そして中高生の声をしっかりと受け止めながら、京丹後市の将来を切り開く取り組みを展開していただきたい。Kyotango Sea Laboなどその萌芽となる取り組みが開始されている。今後、一層、充実していくことが期待される。そのためには、環境整備に力を入れて、条件を整えていってもらいたいと思う。これまでの日本の公教育の殻を破る可能性があるように感じる。



## 教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都文教大学 総合社会学部総合社会学科 教授  
氏名 澤 達大  
令和5年10月24日（評価を行った日）

### 2 序論

令和4年度『教育委員会活動の点検及び評価報告書』、ならびに関係部署が発行する各資料に基づき、自己点検評価の点検を行った。新型コロナウイルス感染症による重症化のリスクが軽減されたが、まだまだ日常を取り戻せない中での教育活動を取り組んできたものと考えられ、関係各部署において、報告書には表れない陰の努力を積み重ねたものと察する。関係各位のご尽力に改めて敬意を表したい。

評価報告書は、これまで以上に PDCA サイクルを働かせ、社会の変化や住民のニーズ等に合わせた事業の見直しをすることが求められる。そのような観点も含め、以下のとおり意見を論じる。

### 3 本論

#### (1) 教育委員会の活動状況

定例会・臨時会は昨年よりやや少ない 16 回開催となったが、会議の効率化を図った結果であると捉えるならば、良い方向へ進んでいると推測される。委嘱などのルーティン議案が数多くある一方で、後援についての内容については、各種行事が市内で開催されている。このことは地域の魅力発信や活性化につながることであり、市民のおもてなしに支えられているものと感じられる。

京丹後市教育フォーラムについて、別紙のフォーラムまとめを拝読すると、参加者アンケートについて例年どおり満足度が非常に高いだけでなく、フォーラムの成果と課題、今後の展開に関する方向性が検討されている点は高く評価できる。研修会のうち、行政報告の市の取組み概要で、「Kyotango Sea Labo」に関する好印象の感想が多く、次年度以降の活動と成果に期待が持てる。一方で同報告の感想欄に「学校の教職員にはほとんど伝わっていない」とあった。行政と現場が一体となって、優秀な地域人材育成を図る必要があると思われる。平田オリザ氏の講演について、平田氏は本学客員教授であり本学開催のワークショップでもその人柄とともに講演内容について人気を博している。毎年素晴らしい人選をしている点で、次年度の開催を待ち遠しく思っている市民も多いことと察する。

#### (2) 施策評価・進捗管理調書

重点目標 5, 6, 7 における施策進捗状況の自己評価は▲（少し遅れている）であった。新型コロナウイルス感染症の5類移行後の展開に期待したい。一方で、コロナ前から住民のニーズに合わない事業の見極めも重要である。今後も PDCA サイクルを働かせながら、前例踏襲ではない新しい形を模索することが求められる。以下、重点目標 1, 2, 3, 4, 5 について述べる。

##### <重点目標 1 就学前の子どもの教育・保育環境の充実>

子育て環境の充実が若年層の定着につながる。京丹後市は、自然豊かな恵まれた環境下で地域一体となって子育てを支えている点が特徴的である。政府が打ち出した「異次元の少子化対策」と関連させ、他部署との連携もはかることにより、子育て世代にとって魅力のある地域になり得る。その要素の1つとして、就学前教育をより一層充実させることが必要と考えている。一方で、民営化保育所設置数の箇所述べられていた、今後2施設の民営化検討の中で、保育従事者の不足が問題となっている。京都府内で幼児園教員・保育士養成を行う大学との連携協定を結ぶ等の政策で、解決の道に進むと思われる。

##### <重点目標 2 確かな学力・生き抜く力の育成>

家庭学習時間の減少傾向は全国的に問題になっているが、全体学習と個別学習とを分けて考える必要がある。クラス内で意見や情報を交換する学習は学校でしかできない。タブレットを持ち帰った個別学

習は、学習履歴も辿りデータを蓄積できるメリットがあり、調べ学習を自宅課題とすることも可能である。授業と自宅学習をリンクさせる課題提示の工夫が、自宅学習時間増加の一方策と考えられる。

学習時間を高める前提としては、授業内容が楽しい、興味がわく、知的好奇心をくすぐるものである必要がある。単調なドリル学習だけでは、家庭学習時間を伸ばすことは不可能である。小中学校ともに、目先の指導の在り方よりも、興味を持って自発的に学びたい教材研究に力を入れるべきと思われる。

京丹後市は地域の素材が豊かであり、それらを生かした「丹後学」は優良コンテンツといえる。ただし課題として、副読本の在り方は再検討すべきと思われる。検定済教科書が学習指導要領をふまえて探究的な学習に取り組む内容に改訂されているが、副読本は、ジオパークなど新しい内容はあるものの、体裁が従来どおりであるため、改善が必要である。また、報告者が先行研究を調べた結果では、いわゆる教室内の座学による調べ学習で終わる学習より、地域に出て地域の方と接して具体的な行動を起こすことが、その後、地域に携わる人材として活躍し郷土愛が醸成されている場合が多い。コミュニティスクールに移行した点から考えて、丹後学の内容について、地域を巻き込んだ取扱いが求められる。

#### <重点目標3 教育環境の整備>

子どもの安全・安心の確保について、人口減少による学校再配置で校区が拡充し、スクールバスの運行を余儀なくされている。全国の過疎地では、人員不足によりバス運転手の確保も厳しい状況にあることが報告されている。今後に向けて大きな対策を取る必要があるように思われた。

#### <重点目標4 豊かな人間性・社会性>

孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援は、特に未就園児の教育で高く求められる。小・中学校への保護者対応も、保護者同士の連携が取れないため孤立している人からの事例も多くみられる。また、スマートフォンの早期発達段階での使用は弊害があることを、社会全体で理解する必要がある。

不登校の事案が報告されていたが、不登校は学校文化そのものが社会状況の変化に対応しきれていないことに起因する可能性も否定できない。児童生徒理解を踏まえた上で柔軟な対応が求められる。

#### <重点目標5 生涯にわたる豊かな学びの支援>

人権教育の推進について、人権は時代とともに変化することを常に意識する必要があるが学校内外で求められる。これまでやってきたことが認められない事案も多くある。社会情勢に敏感になり、コンプライアンスを高め、常に新しい変化に柔軟に対応できるような体制づくりが求められる。

### (3) 学校評価自己評価

若手教員が増えている中で、管理職の方も大変な状況であることを察した。一方で、管理することに集中する余り、学校から笑顔があふれるよう、児童生徒も教員も褒めて育てる意識をもっていただきたい。

## 4 総括

自己点検評価について、参考となる客観的資料が多く、詳細な内容まで網羅されている点は、関係部署の皆様の努力の賜物と感じられる。一方で資料作成が主たる目標になって本来の業務遂行に支障をきたさないようにすることと同時に、引き続き改善の視点を持ち続けることも必要と思われる。

## 5 総合評価（意見等）

地域外の人材が地域づくりの担い手となる「関係人口」の重要性が近年認識されている。教育委員会が関係人口増加に貢献できることに継続して取り組むことが求められる。市民向けのルーティン業務とともに、市の将来に関わる事業を積極的に推進することを期待したい。

## I 教育委員会の活動状況

## I 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況（令和4年4月～令和5年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、令和4年度は合計16回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・ 12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・ 4回

#### ○令和4年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和4年4月1日	4月定例会	28	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		29	京丹後市立こども園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
		30	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
		31	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		32	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
		33	京丹後市文化財保存活用地域計画協議会委員の解職及び委嘱について
		34	京丹後市立網野学校給食センター整備基本計画の策定について
		35	行政財産の用途廃止について
		報告11号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
		報告12号	財産を貸付することについて（旧橋小学校施設）
		36	京丹後市子育て環境整備応援プロジェクト補助金交付要綱の制定について
		37	京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の制定について
		38	京丹後市教育委員会会議規則の一部改正について
		39	京丹後市就学援助に関する規則の一部改正について
令和4年5月2日	5月定例会	40	専決処分の承認について（一般社団法人京丹後青年会議所推進計画 キャリア教育×丹後学～探求心を養い将来に向けた一步を踏み出そう～に係る後援承認について）
		41	京丹後市図書館協議会委員の任命について
		報告14号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告15号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
		報告16号	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		報告17号	個人情報不訂正決定に係る審査請求について
令和4年6月1日	6月定例会	42	京丹後市保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
		43	京丹後市文化財保存活用地域計画策定協議会委員の解嘱及び委嘱について
		44	京丹後市小町ろまん短歌大会開催事業補助金交付要綱の廃止について
		45	第77回（特別冬季）国民体育大会近畿ブロック大会の開催に係る共催について
		46	健康文化講演会の開催に係る後援について
		47	日本舞踊「花柳凜京丹後市公演」の開催に係る後援について
		報告18号	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		報告19号	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について
		報告20号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
		報告21号	京丹後市立湊小学校旧校舎解体撤去等工事請負契約の変更について
		報告22号	個人情報部分開示決定に係る審査請求について
		報告23号	京丹後市情報公開・個人情報保護審査会による答申及び裁決について
		報告24号	個人情報部分訂正決定に係る審査請求の裁決について
		48	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		報告25号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		令和4年7月8日	7月定例会
49	京丹後市指定文化財の指定に係る諮問について		
50	第40回近畿特別活動研究協議会京都府大会令和4年度京都府小学校教育研究会特別活動教育研究大会の開催に係る後援について		
51	Music Journey～名古屋から京丹後への開催に係る後援について		
52	宝くじスポーツフェアドリーム・ベースボールの開催に係る後援について		
報告26号	京丹後市教育振興計画進捗管理について		
53	京丹後市立学校ハラスメント防止等要綱の一部改正について		
報告27号	個人情報部分開示決定等に係る審査請求について		
令和4年8月1日	8月定例会	報告28号	京丹後市子ども未来まちづくり審議会委員の委嘱について
		報告29号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
		報告30号	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について
		54	欠番
		55	能meets京丹後の開催に係る後援について
		56	欠番
		57	かたりの世界「野村克也物語」の開催に係る後援について
		報告31号	グローバル人材育成に係る連携・協力に関する協定の締結について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
		報告32号	個人情報部分開示決定等に係る審査請求の裁決について
令和4年8月23日	8月臨時会	58	京丹後市文化財保存活用地域計画（案）の提出について
		59	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例等の一部改正について
		60	令和5年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		61	令和5年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
		62	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の一部改正について
令和4年9月2日	9月定例会	63	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
		64	京丹後市学校給食材料費支援補助金交付要綱の制定について
		65	令和4年度文化芸術を体験する機会の創出事業の開催に係る後援について
		66	久美浜湾博（わんぱく）2022～歩く・漕ぐ・食べる～の開催に係る後援について
		67	風景泥棒はどこへ？ 地域×現代アートを語り合うの開催に係る後援について
		68	次世代育成事業「親子で魚をきれいに食べよう大作戦」の開催に係る後援について
令和4年10月3日	10月定例会	69	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
		70	きょうされん40周年記念映画上映の開催に係る後援について
		71	関西マスターズゲームズ2022第45回京都府民総合体育大会種目別交流マスターズ大会カヌーの部の開催に係る後援について
		72	令和4年度文化を未来に伝える次世代育み事業「間人の鬼伝説と絵画体験」の開催に係る後援について
		73	Jazz Live 2Daysの開催に係る後援について
		報告33号	個人情報部分開示決定に係る審査請求の裁決について
		74	専決処分の承認について（丹後から能楽師プロジェクトの後援承認の取消しについて）
		75	京丹後「食とスポーツ・健康の祭典」の開催に係る後援について
		報告34号	京丹後市文化芸術振興計画（案）の策定に係る答申について
		令和4年11月1日	11月定例会
77	令和3年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について		
78	欠番		
79	第19回京都府北部タグラグビー交流会の開催に係る後援について		
80	京丹後市就学援助に関する規則の一部改正について		
81	八丁浜ランニングDayの開催に係る後援について		
報告35号	京丹後「食とスポーツ・健康の祭典」の開催に係る後援について（変更）		
報告36号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の解嘱及び委嘱について		
報告37号	京丹後市公平委員会からの助言について		

年月日	会議名	議案番号	議案件名
令和4年12月1日	12月定例会	82	京丹後市子育て環境整備応援プロジェクト補助金交付要綱の一部改正について
		83	京丹後市文化芸術振興計画の策定について
		84	行政財産の取得（所管換え）について
令和5年1月4日	1月定例会	1	令和5年度全国学力・学習状況調査の実施について
		報告1号	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		2	令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウムの開催に係る共催について
令和5年2月1日	2月定例会	3	京丹後市指定文化財の指定について
		報告2号	個人情報の存否を明らかにしない決定等に係る審査請求について
		報告3号	損害賠償請求訴訟に係る判決の確定について
令和5年2月14日	2月臨時会	4	令和5年度教育委員会関係予算について
		5	令和5年度「学校教育指導の重点」について
		6	令和5年度「社会教育推進の重点」について
		7	京丹後市子ども未来まちづくり審議会条例等の一部改正について
		8	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		9	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		10	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しに係る諮問について
		報告4号	京丹後市とKYOTO TANGO QUEENSとのスポーツを通じたまちづくりに関する連携協定締結について
		11	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		報告5号	個人情報の存否を明らかにしない決定に係る審査請求について
		令和5年3月1日	3月定例会
13	専決処分承認について（京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業保育料徴収条例の一部改正について）		
14	京丹後市史跡整備検討委員会条例の一部改正について		
15	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について		
令和5年3月14日	3月臨時会	16	令和5年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		17	京丹後市教育支援センター設置規則の一部改正について
		18	京丹後市体育協会運営補助金交付要綱の一部改正について
		19	京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について
令和5年3月22日	3月臨時会	20	令和5年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		21	京丹後市史編さん委員会及び編さん専門部会設置規則の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
		22	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則等の一部改正について
		23	京丹後市保育所保育事業補助金交付要綱の一部改正について
		24	丹後展企画委員会設置要綱の廃止について
		25	京丹後市立旧郷小学校跡施設活用検討委員会設置要綱の廃止について
		26	京丹後市教育委員会職員服務規程の一部改正について
		27	京丹後市教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の制定について
		28	京丹後市立学校インターネット活用に係る個人情報取扱規程の廃止について



## 2. 教育委員会委員の主な活動

- (1)管内視察実施状況 5箇所(史跡網野銚子山古墳、大宮こども園、網野中学校、丹後古代の里資料館、大宮中学校)  
 所管施設を訪問し、各施設の参観や職員と懇談の中で、教育委員会の施策が十分反映されているか、今課題となっている事項等状況把握に努めました。
- (2)管外視察実施状況 1箇所(関西学院千里国際中部・高等部)  
 ・グローバル教育の実践(外国語教育の推進など)や、課題解決に向けた教育実践(STEAM教育など)等について
- (3)教育委員協議会開催状況 2回  
 ・京丹後市文化財保存活用地域計画(素案)について  
 ・京丹後市文化芸術振興計画(案)について  
 ・令和4年度全国学力・学習状況調査結果について
- (4)総合教育会議 3回  
 京丹後市教育大綱について、令和3年度「いじめ・不登校の状況」について、令和5年度予算案の検討状況について及び京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討についてにおける検討事項等について市長と協議・意見交換を行いました。
- (5)各種研修会・視察の参加 5回  
 文部科学省、京都府教育委員会連合会等が主催する研修会等(オンライン開催含む)に積極的に参加し、教育行政の諸課題について情報提供を受けました。

月	月 日	件 名	場 所
4月	4. 4. 5	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	4. 4. 6	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
	4. 4. 7	市内小学校入学式	市内各小学校
	4. 4. 8	市内中学校入学式	市内各中学校
	4. 4. 13	第1回校(園)長、保育所長会議	アグリセンター大宮
5月	4. 5. 24	令和4年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	生涯学習センター知遊館
	4. 5. 25	京丹後チャレンジデー2022	京丹後市内
	4. 5. 30	令和4年度京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 講演 『当面の教育課題について』 講師 指導部長 吉村要氏	京都府総合教育センター
7月	4. 7. 8	教育委員任命通知書交付式(関美幸委員)	京丹後市役所
10月	4. 10. 19	丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 演題 『子どもに求められている能力の育成について』 講師 芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ氏	兵庫県豊岡市 芸術文化観光専門職大学
11月	4. 11. 1	令和4年度近畿市町村教育委員会研修大会 (1) 基調講演 演題 『教育に科学的根拠を』 講師 慶応義塾大学 教授 中室牧子氏 (2) 実践発表 演題 『プロジェクト型保育の実践報告』 講師 四条畷学園短期大学 教授 山田秀江氏	大宮庁舎 (オンライン開催)
	4. 11. 11	京都府内市町(組合)教育委員会研修会 (1) 講演 『令和の新しい学びと学力向上へのアプローチ』 講師 京都府教育庁 指導部長 吉村 要氏	ルビノ京都堀川
	4. 11. 25	令和4年度いじめ防止講演会 テーマ 『京丹後市で、ともに子どもを育てるためにできることとは?』 講師 龍谷大学文学部臨床心理学科 小正浩徳先生	アグリセンター大宮

月	月 日	件 名	場 所
1月	5. 1. 22	令和4年度京丹後市教育フォーラム 行政説明『これからの時代を生きる子どもたちに育みたい資質・ 能力と本市の取組みの概要』 後援 『これからの時代を生きる子どもたちに育みたいもの』 ～子どもたちのために、私たち大人ができること～ 講師 芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ氏	アグリセンター大宮
3月	5. 3. 14	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
	5. 3. 19	令和5年京丹後市はたちを祝う式典	京都府丹後文化会館
	5. 3. 23	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
	5. 3. 24	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
	5. 3. 24	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所